

身近なバッテリーが火災の原因に

モバイルバッテリーの普及に伴い、リチウムイオン電池関連の火災が増えてきています。
リチウムイオン電池とは、スマートフォン、パソコン、電動工具などに使われている電池です。

■これまで実際にバッテリーが発火し、火災の原因となったもの

- モバイルバッテリー
- コードレス掃除機
- ノートパソコン
- 携帯電話機
- LED ライト
- 電動工具
- 電動アシスト自転車
- 携帯ゲーム機



衝撃を与える実験で激しく発火するバッテリー

■熊本市消防局管内でも

【火災事例その1】

健康増進のため万歩計を貸し出していた事業所で、電池の消耗防止のためボタン電池（リチウムイオン電池）を万歩計から抜き取り、約100個を紙袋に入れて保管していたところ、通電して発火。

ボタン電池に絶縁処理をせず、無造作に紙袋に大量に入れ、重なり合っていたことが原因です。



【火災事例その2】

自作のラジコン飛行機を飛ばして遊んでいて、操作を誤り墜落してしまいました。機体内部のバッテリーが衝撃で破損し発火。広範囲に広がる原野火災になりました。

自作のため機体内部の部品配列や固定が軟弱で、衝撃に耐えられなかったことが原因です。



■バッテリー火災を防ぐには

正規品の充電器、バッテリーを使用しましょう。

【使用のするときの注意点】

- 衝撃を与えない
- 充電時間は守る
- 損傷を防ぐ

また、廃棄するバッテリーは正しく処分しましょう。特に、劣化して膨らんだバッテリーは大変危険です。衝撃を与えずに処分しましょう。



劣化して膨らんだバッテリー



【令和3年町内の火災等発生状況】

発生区分	4月中	累計
建物	1	2
車両	0	0
火災 林野	0	0
航空機	0	0
その他	0	0
警戒出動	2	7
救急出動	124	448
救助出動	1	3

■出火したときは

大量の水や砂を掛けて窒息消火
ABC 粉末消火器で消火



バッテリー自体は激しく発火しますが、燃え続けることはありません。周りの物に燃え移り火災になるのを防ぐため、焦らずに落ち着いて初期消火をしましょう。